ナイス福岡 会報
自然感
くすのき
2021年5月
第310号

「初夏と言うのは少し早いですが、陽当たりの良い道端の、可愛らしい草花たちです。」

お問合せ：　福岡県自然観察指導員連絡協議会
（NAIS Fukuoka：The Nature Interpreter Society of Fukuoka）
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作･山本勝･松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113　福岡市城南区田島３丁目７番14号
田村の自宅内　TEL　：092-844－4381
URL：http://www.kurabird.com/

掲示板 URL: http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会（120回）は
☆日時　５月１５日（土）１０時から12時まで、コロナウイルスの拡散防止のため、公園が利用できるようになるまで、延期します。

【連絡先】　担当：田村　耕作
TEL 090－8220－6160〔田村の携帯〕

注意　各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部　主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

５月１６日（日）６月２０日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
中止
集　合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松）

５月２３日（日）６月２７日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時　間：9:00～12:00
集　合：久末ダム多目的広場横
駐車場　（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

６月６日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時　間：8:00～11：00（夏時間）
集　合：玄洋高校西側道路
問合せ:090-8220-6160(田村耕作)

６月１２日（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時　間：9:00～12:00
集　合：ボート乗り場前
問合せ：092-834-8644（持永俊行）

６月１３日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
中止
集　合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

６月１日（火）
県営春日公園（春日市）
時　間：10:00～12:00
集　合：音楽堂ステージ側（第５Ｐ）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

５月２３日（日）**中止**
集　合：膿施山公園（みやま市）
すいせん橋
問合せ： 090-4480-9104（中嶋）
一般参加は感染状況による

福岡植物友の会

５月１６日（日）　**中止**
宗像ふれあいの森
問合せ：佃　昇（092-662-2983）
要予約　参加は有料

コナラの虫こぶ
ナラハナケタマフシ
三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/

６月５日（土）
集　合：九州歴史資料館駐車場
時　間：9:30～12:00（早めに終わるかもしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
コロナ対策：ブログにて確認

ブログ　「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
検索
観察会や様々な生きもの情報を載せています

久留米の自然を守る会

５月１６日（日）
樹木の名札付け（観察会）
集　合：高良大社階段下・望郷亭前
時間：9：30～13：30
昼食持参
問合せ：0942-43-7959（河内）

三国丘陵の自然を楽しむ会　観察の様子

和白干潟を守る会　主催

５月２２（土）
定例会議
時　間：12：00～14：00
集　合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

５月２２（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時　間：15：00～17：00
集　合：海の広場　駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

クサノオウ　三国・松永

２０２１年４月
私のデジカメ日誌より
本のむし

今回は、4月1日(旧暦2月20日)～4月30日(旧暦3月19日)までのデジカメ日誌です。

4月2日(旧暦2月21日)　筑紫野市天拝坂地蔵川べり
イラクサ科のイワガネの雄花である。雌雄異株で5月には、白い肉質のそう果がびっしりと枝に付くのが観られる。南方系の種で、東南アジア、インド、ネパールなど分布する。九州以外では結構珍しいらしく、天然記念物になっているところもあるらしい。

4月8日(旧暦2月27日)　福岡市春吉建立寺
灌仏会(花まつり)である。今年もお寺の門前で、お釈迦様の像に甘茶を掛け、誕生日を祝った。甘茶はヤマアジサイの変種で、葉を発酵させるとかなり甘くなる。コロナ禍のさ中で、甘茶を飲んでいただくのは自粛となったのが残念であった。

4月10日(旧暦2月29日)　筑紫野市天拝坂
庭のミヤコワスレが咲いた。買った当初は淡い青色であったが、土のせいかすべて白になった。もとは山地に自生するミヤマヨメナで、春に咲く淡青紫色の野菊だ。

4月17日(旧暦3月6日)　筑紫野市原田
ハハコグサなら春の七草の御形(おぎょう)だが？　葉っぱの先が尖ってへら型ではない。セイタカハハコグサにしては、花が多いような・・・・。小さなカメムシの仲間が吸蜜中。

4月30日(旧暦3月19日)　福岡市博多区金の隈
金隈遺跡・弥生の森に咲いていたエゴノキの花である。他にコナラ、スダジイ、アラカシ、ヤマザクラ、ヤブツバキなど大樹が茂り、　2200年前の仄暗い照葉樹林の雰囲気。

4月30日(旧暦3月19日)　筑紫野市天拝坂
庭のオオヤマレンゲ。今まで5月に入った頃咲いていたのが、今年は4月中旬に咲いた。温暖化の影響か、最近樹勢が落ちていたので気になる現象である。

春日公園自然観察会　報告

令和３年４月 17 日（土）**【参加者数】４人**
【担 当 者】、田村耕作
コロナウイルスの拡散防止対策のために、自然観察会を中止していましたが、拡散が落ち着き始めた様子から、2020 年 6 月の観察会から開催しています。しかし、再び拡散が広がっていますので、よりコロナ対策に配慮しつつ、園内を散策しました。
（報告と写真/田村耕作）

観察コース
　自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～カスケード～噴水広場～自然風庭園～自然あそび館
観察内容、春の花と渡り鳥を中心に観察
植物　メリケントキンソウ（帰化）、イヌガラシ、オヘビイチゴ、チチコグサ、ウラジロチチコグサ、ヒメコバンソウ（帰化）、ヤマザクラ（実）、トウバナ、スミレ、アリアケスミレ、ウマゴヤシの仲間（帰化）、ニガナ、ネジキ、ヤマザクラ、イロハモミジ、ハリエンジュ（帰化）、ニシキギ
野鳥　キジバト、コゲラ、スズメ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、ハクセキレイ、メジロ、モズ、ヒヨドリ、ウグイス、シロハラ、ツグミ、クロツグミ、アトリ、カワラヒワ、イカル、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、アヒル、
その他の生きもの　アオスジアゲハ、ベニシジミ、ヤマトシジミ

感想（参加者の声）
・石垣の隙間に芽生えたイロハモミジ、スズメノヤリ、ヒメウズが印象に残った。
・クロツグミ（♂）を初めて観察した。
・ヤマザクラの赤い実が美しかった。
・ニシキギの花が枝にびっしり付いていたことが、この種にどんな利益があるのか？

観察会風景

メリケントキンソウ

石垣の隙間で芽生えた幼木

旅の途中のクロツグミ♂

ヤマザクラの実

ニシキギの花

ナナホシテントウ

スミレ

マツバウンラン

会員からの投稿(1)　渋田　和美

緊急事態宣言が出た福岡県、今回は前回と違いかなりシビアで、マイフィールドの大峰山駐車場が閉鎖されました。油山も閉鎖されたと聞いてます。毎日更新される新記録にため息の出る毎日。
　でも植物も鳥も季節通り動いてます。
今年もクルマバアカネが元気に育ってます。☞
　5 月 1 日撮影、津屋崎
なんの声？とのぞいた葦原にいた
ツリスガラ 4 月 24 日撮影、津屋崎

クルマバアカネ

ツリスガラ♂

会員からの投稿(2)　志賀　壮史

SDGs の 17 の目標（その７）

　SDGs（持続可能な開発目標）の 17 の目標を少しずつ取り上げています。
今回は「貧困をなくす（No Poverty）」です。極度の貧困状態を無くす、適切な社会保障制度を設けるといったことが含まれる目標です。

　日本は世界の中で比べれば豊かな国。とは言え、相対的貧困率（世帯所得が全世帯の中央値の半分未満である人の割合）が高く、所得の格差は大きい国です。特に一人親の世帯の相対的貧困率が OECD 加盟国中もっとも高い状態。自然観察指導員の立場に引き寄せると、そんな格差のある社会では子どもたちの自然体験機会にも格差が生まれているのではないか？が気になります。
　私は教育社会学者の舞田敏彦さんのブログ「データえっせい」を愛読しています。少し古い記事ですが 2014 年に「体験格差」と題して家庭の年収と子どもの体験量の差がまとめられていました。
https://tmaita77.blogspot.com/2014/12/blog-post_26.html
　直接、自然体験を扱ってはいませんが、各種スポーツや芸術鑑賞、海外旅行などの体験率が、富裕層ほど高くなる結果となっています。格差社会では子どもたちにも体験の格差を生んでしまうようです。
　そこら中に田んぼや雑木林があって自然と遊べる時代がありました。しかしそれらが失われつつある今、自然体験の機会すら親の年収によって左右されると思うと、なんとかしたいという気持ちになります。
（写真は本文と関係のない草っぱらを進む子どもたちの様子です）

会員からの投稿(3)　田村　耕作

どういうわけか、渡りをするアサギマダラを片江展望台で、5月によく目撃しています。
ウツギの花で吸蜜中かな(5/7) ☞

飛翔中のアサギマダラ(5/6)

会員からの投稿(4) 田村 耕作

この頃、タカの渡りを楽しむために、油山標高 597mの中腹にある片江展望台(標高 210m)に頻繁に出かけています。5/8 の午後、展望台の天気は曇り、気温 21℃でしたが、黄砂で見通しが低かった。見通しがいいと、英彦山系の山々、玄界灘に浮かぶ宗像大島や相島がくっきりと見える場所なのです。そんな中、展望台の周辺ではツバメやイワツバメが沢山飛び回っていました。ヒメアマツバメも飛んでいるよとの話も聞こえてきました。

いつもの証拠写真のつもりで、ツバメ(全長17 ㎝・翼開長 32 ㎝)、イワツバメ(全長14 ㎝・翼開長 30 ㎝)を写す中で、少し大きいアマツバメ型のツバメを見つけました。レンズで捕えた画像は、ハリオアマツバメ(全長21㎝・翼開長50㎝)でした。少し興奮しました。帰宅し、再度大きい画面で確認し、まあまあ焦点もあっていた。やったー!と小さな声をあげた。

ツバメ

イワツバメ

尾を開いたハリオアマツバメ

尾を閉じたハリオアマツバメ

◆◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆

会費振込について

会計年度は 6 月から翌年 5 月末までです。会員の皆様、２０２０年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000 円　　郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、**令和３年６月１１日（金）午後２時**より事務局で行います。令和 3 年６月号の原稿は、6/8（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

今年の定例総会は、集まることをやめ、会報で内容を提示し、意見を伺ったり、情報交換することにします。

◆◆◆

編集後記　2021 年４月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業した。

毎月１回、自宅の周辺で決めた道順を歩き、鳥類を中心に見かけた生きものを記録しています。

5/10（月）に歩いていて、開花しているホタルブクロ（キキョウ科）を見かけた。例年より早い開花かなと思いました。過去の私の記録を見ると、2019 年 5/26、２０２０年 5/27 に、それぞれ開花した写真を写しています。

油山で春に見かけるジャケツイバラの黄色い花も、５月初めに開花していた。ソメイヨシノの開花も３月中旬でした。開花が早いです。

春の季節に開花する花の時期が早まっていることを実感したホタルブクロでした。花の花粉を運ぶ役目を持つ虫たちの活動時期とずれは生じていないのか？

気候の変化に生きものが敏感に感じ取って、その生態を変えているのでしょうか。

我々の生き方暮らし方が問われているのでしょうか。

こんなことを思いつつ、５月号の編集となりました。田字草

撮影：2021　05/10 城南区田島にて　田村耕作